



人間の血はどれくらいあるの

およそ体重の13分の1くらい

人間の体の中にある血(血液)の量は、大人の人で、およそ体重の13分の1だといわれています。ですから、体重が60キログラムの人なら、血はおよそ4.6キログラムということになり、これをかさになおすと、約4.6リットルということになります。

血液の量が減ると

血(血液)は、わたしたちの体のすみずみにまで、体が必要な酸素や栄養などを運ぶ、大切な役目をしています。血(血液)は、体重のおよそ13分の1ほど体の中にあるのですが、大けがなどで、大量の血液が体内から流れ出て(出血)しまったときには、どのくらいの量の血液がなくなると、人間は死んでしまうのでしょうか。

じつは、これは、出血の量と時間に関係するのです。出血がゆっくりで時間が長く、血の量が少しずつ減っていく場合には、3分の2までは、なんとかたえることができます。そして、それ以上出血すると、死んでしまいます。しかし、出血の血の流れが急で、短い時間に流れ出てしまうと、たった5分の1の血がなくなっただけでも、死んでしまうことがあるのです。(監修・保志 宏)

